

(中国乙14)

# 細菌性・アメーバ性赤痢 発生推移 = 2025年10月度 =

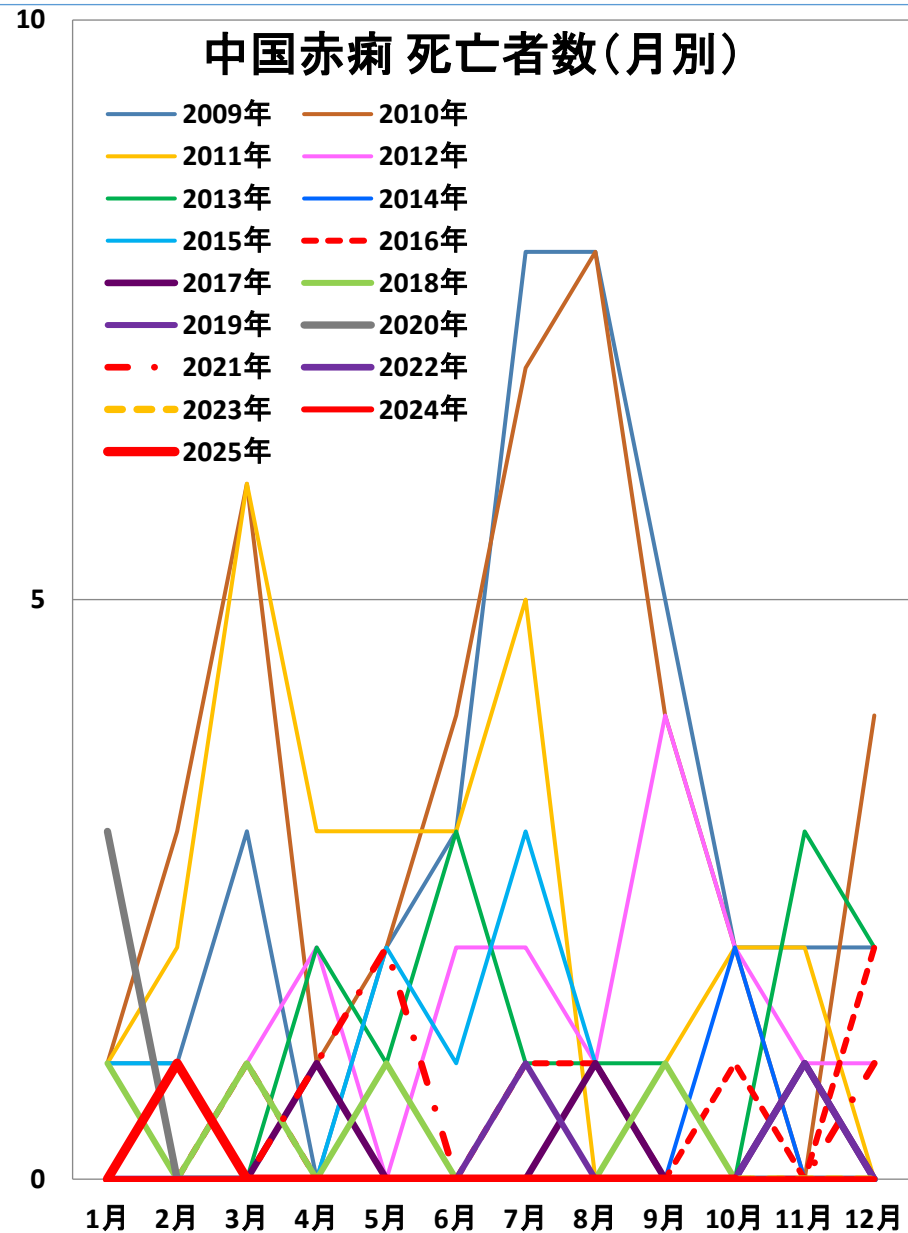
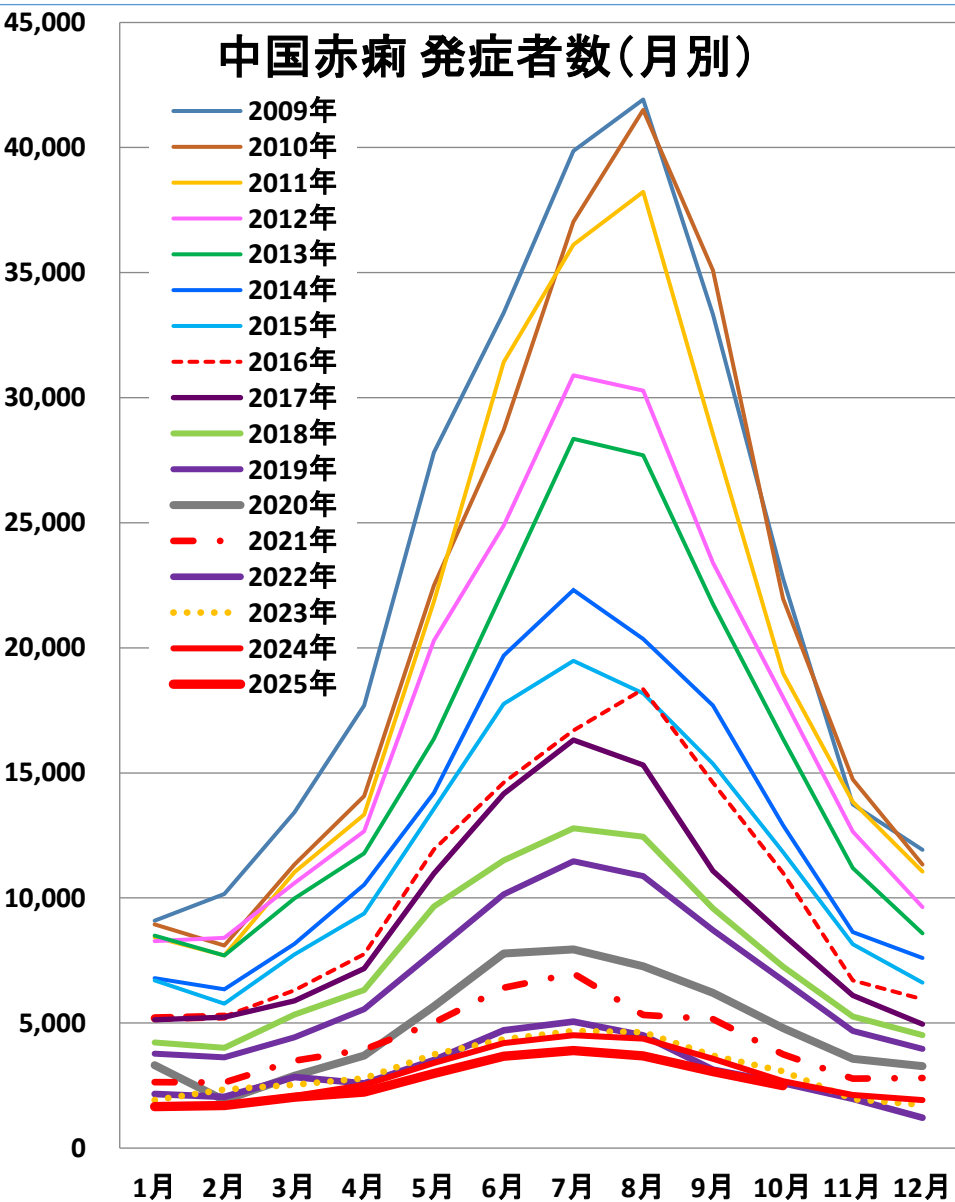
発表: 2025年11月6日 国家NDPCA

作成: 2025年11月11日  
日中医療衛生情報研究所

# 細菌性・アメーバ性赤痢

- 患者発生のパーク期は夏場の7～9月
- 年間患者発生数は、2008年から年々減少しており、  
2016年9月から2021年1月まで53カ月連続で  
月間発症者数の『過去最低記録』を更新。その後、  
2021年5月からまた過去最低記録更新始まり減少傾向に  
2015年は138,917例、2016年 123,283例、  
2017年109,368例、2018年 91,152例、  
2019年 81,075例、  
2020年 57,820例（**コロナの影響？**）  
2021年 50,403例、2022年 35,951例、  
2023年 37,114例、2024年は 34,749例（速報ベース）

## 乙14：細菌性・アメーバ性赤痢



# 乙14：細菌性・アメーバ性赤痢

